

Ⅲ 申請書記載例

＜記載にあたって＞

- 申請書の枠は自由に拡張していただいて構いません。
- 注釈（※）は必要に応じ、削除いただいて構いません。
- 文字サイズは 10.5 ポイント以上に設定し、フォントは明朝、ゴシック等の読みやすいものを使用してください。行間は自由に変更していただいて構いません。
- 必要に応じて、図面等の別添資料を任意で添付することができます。
- 申請書は第三者にも理解できるよう、明瞭かつ具体的にご記載ください。
- 申請書（第 1 号様式）・別添資料（任意）の合計は
【A 4 片面印刷で計 1 1 枚以内】を厳守してください。

＜注意＞

記載されている内容はあくまで参考例であり、採択を保証するものではありません。
各企業の取組みに応じ、創意工夫した内容でご記載ください。

第1号様式（第5条関係）

令和7年*月**日

公益財団法人大田区産業振興協会
理 事 長 宛

団体の場合は団体名

登記簿記載の役職名

会社名 株式会社****
所在地 東京都大田区***-**-**
代表者役職・氏名 代表取締役 ****
担当者名 ***課 ****
連絡先 ***-****-*****
電子メールアドレス ****@****.****.*

代表取締役印
又は代表者の個人印
(社判は不可)

印

新製品・新技術開発支援事業助成金交付申請書

標記の助成金に係る事業を下記のとおり行いますので、新製品・新技術開発支援事業助成金交付要綱第5条の規定に基づき、助成金の交付を申請します。

記

1. 申請事業

- [] トライアル助成
[☒] 開発ステップアップ助成
[] 実用化製品化助成

申請を希望する項目の一つに「○」をつけてください。

2. 事業テーマ

概ね30字程度で、事業内容をわかりやすく簡潔に記載してください。
※採択事業は企業名と共に、協会HPで公表させていただきます。

3. 提出書類

- (1) 助成対象事業計画書（第1号の2様式）別紙のとおり
(2) 助成対象経費及び内訳（第1号の3様式）別紙のとおり
(3) 助成対象事業による効果の予測（第1号の4様式）別紙のとおり
(4) その他図面等参考資料 別紙のとおり

第1号の2様式（第5条関係）
（第1面）

事業の完了が見込める期間内で記載してください
（最長で令和7年4月1日から令和8年3月6日）。

事業計画書・事業概要

1 事業テーマ	*****	
2 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月6日	
3 企業名	株式会社****	
4 企業の概要 ※主要事業や企業の強み （得意とする加工技術 や主力の自社製品等）等 をご記入ください。	当社は****分野で****の事業を展開してきた。顧客からは****と****において高い評価受け、特に****は..... また、本助成金については令和****年に「*****」のテーマで採択され、事業終了後に****を経て市場投入にまで進みつつある。 こうした試行錯誤を繰り返す中で、****において****となり、****での強みを高めてきた。.....	
	業 種	*****業
6 申請に至った 背景及び経緯 （開発に至った事業の背景や 経緯、申請時点でどこまで 事業が進んでいるか等、具 体的にご記入ください）	今回の取組みはこれまでも****に取組んできたもので、特に****は当社の****での更なる競争力強化となる。また、****は当社の技術にて対応可能であることが****であり、****であることから****に至った経緯がある。	

7 具体的な取組内容について (製作する試作品の概要や開発・実用化に向けた具体的な取組内容等をご記入ください。)	調査(または開発)の具体的な取組としては大きく ①***** に分かれるが、特にポイントとなるのは、****の***である。別添資料の***では****の**において****としており.....。
8 本年度の調査及び開発における目標と将来的な最終目標	① 本年度の目標 今回の調査(または開発)は****を***することであり、このため具体的な取組みとして****の達成が不可欠である。そのためには***の**のが最も重要であるため***を***とする。..... ② この事業の将来的な最終目標 本事業の最終目標は****を***することである。...

9 過去の同一の事業テーマまたは関連する事業内容等における助成内容について ※該当がある場合、採択年度、類型、経緯（そのときの取り組み内容、達成状況、課題、本年度申請の理由）についてご記入ください。	本助成金については令和**年に「*****」のテーマで採択され、*****の助成金を受けた。取り組み内容は***であり、達成状況としては.....。課題は***であり、本年度申請を行う理由は.....。
10 他助成金等の申請状況（他公的機関等）	○申請事業と同一の事業テーマまたは関連する事業内容等で、申請中または予定のものがあれば「①あり」、なければ「②なし」に○印を付けてください。 ① ☒ あり 助成金名：ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金（中小企業庁） ② ☐ なし
11 総事業費	7, 764, 000円 ▼ 第1号の3様式「総事業費（税込）」の合計を記載（参考 p.29）。
12 助成対象経費	7, 200, 000円 ▼ 第1号の3様式「助成対象経費（税抜）」の合計を記載（参考 p.29）。

(第2面)

申請する新製品・新技術に関すること

13 新規性 ※既存の製品や技術（他社も含む）と比較し、どのような点に新規性を有するかご記入ください。	既存製品としては***が広く市場に出ており、***の顧客ニーズも多種多様となりつつある。これに対して業界全体では***の点に注目が集まりつつあり、他社においても***のための製品が開発されている。 しかし今回取組むものは***において新規性を有するもので、そのアイデアは***において独創的なものである。具体的な相違点としては、多くの他社が***の点に注力しているのに対し、当社では***の視点から***したもので、これにより***と***では他社と明確に差別化される。 ***の開発に際して、当社が認識している課題は***であり、その問題点は次のとおりである。解決には***が考えられるが・・・・・・であるため・・・・・・。
14 優位性 ※類似製品や技術と比べ、優れている点（性能、コスト、生産性、時間、安全性、環境負荷など。）についてご記入ください。 ※特許申請等についてもご記入ください。	市場で大きなシェアを占めている***の***は、性能面では***、価格面では***というのが現状である。これに対して今回開発する製品は***、***と圧倒的な優位性がある。 ***では、***プロセスにかかる時間が価格や市場への即応性において最大のネックとなっているが、***をすることで当社は前述の***で実現することができる。そのために必要なことは・・・・・・。 <比較表> ***** また、今回の開発では特許を取得する予定であり、この技術を足がかりとして、***分野への進出も視野に入れている。これまでは***に終始していたが、***を契機に開発型企業へと飛躍し・・・・・・。
15 市場性 ※開発製品・技術の市場性（開発製品が、市場にどのように受け入れられるかの予測とその根拠や、開発製品に係る市場動向、競合他社の状況など）をご記入ください。 ※どのように販売戦略（ターゲットとするマーケット、販売方法、販売価格、販売体制等）を考えているかについてご記入ください。	***のデータによれば、***の市場は***であり・・・・・・という成長著しい状況である。顧客ニーズの多様化に伴い、***の点で技術的課題の解決が望まれているが、現在***である***は未だ***で至っていない。当社が考える***の手法により課題を解決することで獲得できるシェアは・・・・・・。 ◆販売戦略 今回の開発を終えた後、***の展示会等で反応を見極めながら、***について更なる改良を加える。市場投入は***を目指し、販売価格は***、年間***を目標とする。 しかしこの実現のために、現在の***では***であるため、新たに***との協力を視野に入れている。販売時には***であるが、開発時より***を意識し・・・・・・今回の成果を着実に繋げていく。

事業計画に関すること

16 開発体制 ※開発にあたる組織体制（開発責任者、従事者等）や他の組織との連携・委託の仕組み等、開発体制及び役割分担を具体的に記入してください。 ※他企業との共同開発や専門家と連携する場合、他企業・専門家のノウハウを開発にどのように活かすかを記入してください。	開発計画の概要は前述のとおり、大きく ①***** であり、それぞれ***でノウハウを有する人材で、開発体制を構築する。特に大きな比重を占める***では、***で十分な経験を要する***が担当し.....。 また、***については***分野で強みを有する***と既に***の解決について共に模索してきた。これまでの成果としては...であるが、***を***することで、***とも連携しつつ開発に取り組む。 なお、助成事業の事務面においては、***で豊富な経験を有する***が担当し...実施に向けて総合的に万全の態勢を構築している。 ＜開発体制図＞ *****
17 事業スケジュール ※本事業で取組む内容について、具体的な日程を記入してください。	開発スケジュールは別添資料のとおりで、***と***がポイントである。特に***での***は、別途***で時間を要する可能性があるため、現時点から下調べと調整を重ねている。 進捗管理を含めた全体調整は***とする予定であり...当初の計画を完了できるよう.....
18 市場投入スケジュール ※本事業終了後、開発した案件を市場に投入するまでのスケジュールを記入してください。	開発が終了した後のスケジュールは別添資料のとおりである。開発中にユーザーニーズを調査するため、***で試作品を展示するとともに、***と連携し、開発終了後の販路について検討をすすめる。 また販売の際は***の認可に時間を要するが、開発終了後、早期に市場投入を行うため.....準備を進めている。
19 資金計画概要 ※本事業で必要となる資金の計画、調達方法等を記入してください。	現在、当社の財務内容は***となっており一定の健全性を有している。しかし今回の計画は***規模の開発となるため、***を自己資金とし、他の部分は***から借入れを行う予定である。 借入れについては***から***との返答を受けているが、他の調達先も***として視野に入れつつ、計画に必要な資金は確保できる見込みである。 また、***の制度を活用し利子補給を受けられる見込みがあるため、診断士とも相談をしつつ、無理のない資金計画を立てている。

助成対象経費及び内訳

助成率 2 / 3 を乗じた額ではないため、ご注意ください。

助成対象経費 7, 290, 000円

人件費以外の費目は税込額と税抜額をご記入ください。

経費内訳 それぞれの費目につき、品名や単価、委託先、加工等の依頼内容をご記入ください。

費 目	内 容 (委託先、単価、数量等)	総 事 業 費 (税込み)	助成対象経費 (税抜き)
原材料及び副資材費	① * * * * (**円×*個=**円) ② * * * * ※全て区内企業に発注	¥1,144,000	¥1,040,000
機械装置費	① * * * * (**円) ② * * * * ※購入予定価格 * * * * 円 (30,000円 × 10ヶ月 = 300,000円) ※全て区内企業に発注	¥300,000	¥300,000
外注・委託費	① * * * * (**円×*個=**円) ② * * * * ※全て区内企業に発注	¥2,200,000	¥2,000,000
産業財産権導入費	* * * に係る経費 (* * 事務所)	¥550,000	¥500,000
技術指導受入れ費	* * * 技術指導 (* * * 大学)	¥770,000	¥700,000
性能検査費	* * * 検査 (* * * 研究所)	¥550,000	¥500,000
直接人件費	① * * * * 担当 (1800円 × 1250時間 = 2,250,000円) ② 時間単価の算定にご注意ください。 (参考：直接人件費の算定方法 p.9)	¥2,250,000	¥2,250,000
合 計	第1号の2様式（第1面） 「7. 総事業費」に記載。	¥7,764,000	¥7,290,000

単価 10 万円以上の機械装置・工具器具を購入するため、リース料相当額とする必要があります。
(参考：機械装置を購入した場合のリース料相当額の算定方法 p.7)

人件費の助成対象限度額の算定にご注意ください。
※この場合は【助成対象経費の 30%】が適用され、
【人件費：それ以外 = 3 : 7】となっています。
(参考：直接人件費の算定方法 p.9)

※委託経費、機械装置費等で本開発経費の中で、重要と思われる経費については、積算根拠、委託先等を詳細に記入してください。

第1号の2様式（第1面）
「8. 助成対象経費」に記載。

助成対象事業による効果の予測

1 自社に対する効果の予測

（経営面での効果の予測）

開発製品から将来的に得られる利益は****を見込んでおり、今後の***にとって***が予想される。

また****では新規性があり、特許の取得が見込まれる。これを武器に***の新規進出や販売を見据えた***との関係構築など.....が期待できる。

.....

（技術面での効果の予測）

の技術においてが見込まれる。当社を含めた***分野において、まだ***は確立されていないが、今回の開発を通じ****で経験と実績を積むことで、***分野で.....。

また、開発から得られた各種データやノウハウは****においても有効であり、****としても期待できる。

.....

2 区内産業への波及効果の予測

今回の事業は総額****円規模であるが、そのうち***%は区内企業への発注を予定している。自社のみの取組みに終始するだけでなく****を有効に活用し、***の醸成に本事業は寄与できると考えている。

また、今回の開発は****においても社会的に注目されるトピックであるため、****を通じて、大田区ものづくり産業を****していくことにも貢献できると考えている。

.....

※本事業の取組みで、区内産業にもたらす波及効果（ex.区内企業への発注・連携、大田区ものづくり産業の啓蒙など）を具体的に記入ください。

3 開発品・開発技術の売上等の予測

（単位：千円）

	助成事業完了後 1年後	助成事業完了後 2年後	助成事業完了後 3年後
開発品・開発技術に係る 売上高	**千円	***千円	***千円
開発品・開発技術に係る 売上総利益（※1）	**千円	***千円	***千円
開発品・開発技術の製造・ 販売等による雇用増（※2）	*名	**名	**名

※1 売上総利益＝売上高－売上原価

※2 開発品・開発技術の製造・販売等により、雇用増が見込まれる場合、各年の増加人数を記載してください